

群馬県立
県民健康科学大学
看護学教員養成課程

Gunma Prefectural College of Health Sciences
Nursing Science Teacher Training Course

2019



看護学教員養成課程

科学的根拠に基づく看護学教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、看護とその教育の充実、発展、革新に向け寄与する人材の育成を目指します。



学長挨拶

高田 邦昭 Kuniaki Takata

医療分野では、がんの免疫療法や重粒子線治療、ロボット手術、再生医療、さらにAIの医療への応用など技術の進歩はとどまるところを知りません。高齢化の流れは急速にすすみ、ヒトの生物学的な寿命の限界だともいわれる100歳まで生きることが現実のこととなりつつあります。政府でも「人生100年時代」へむけて様々な施策の検討がおこなわれています。

このような医療の高度化が進む長寿社会は、多くの優れた保健医療人材によって支えられます。なかでも、一番多く必要とされる看護人材の養成は、地域にとって喫緊の課題といえます。本学では、学部教育や大学院教育を通じて看護人材養成に取り組んでいますが、さらに看護学教員養成課程では、看護人材養成にあたる看護学教員の養成をおこなっています。この課程は、平成24年度から、社会貢献を行う本学地域連携センター事業の一環として実施しているもので、これまでの6年間で、108名の修了生を送り出しています。修了生は地域の看護師養成機関や医療機関へと戻り、看護師養成校での教育や院内教育にあたっています。本課程は、修了生の教員・教育者による看護人材養成と、それによる地域の看護レベルの向上とともに、修了生一人ひとりにとってもやりがいのある人生へとつながっていくことでしょう。

本学看護学部には、杉森みどり初代学長が看護教育学を専門としたこともあり、看護教育学を専門とする教員が多数配置されています。こうした教員が中心となり、他の看護学部教員、さらに診療放射線学部教員も参加することで、本課程は日本の中でも誇るべき教育プログラムとなっていると自負しています。講義、演習、実習のカリキュラムは、理論から実践まで緻密に配置され非常に充実したものとなっています。本課程で一年近く研鑽することで、教員・教育者としての実力とともに、大きな自信をつけることができます。課程の修了が近づいたところにおこなわれる公開授業では、自信をもって教育しているのを毎年見ることができ、皆が修了にむけてたくましく育っていることを実感しています。本課程を修了すると、厚生労働省による専任教員養成講習会修了者として認定され、看護師養成校での活躍の道が大きく開けます。また、本学の看護学教員養成課程は、大学院博士前期課程のキャリア開発コースともスムーズな連携がはかられていて、本課程修了後さらに修士の学位へとステップアップを目指すこともできます。前橋市にある本学では、学部学生、大学院学生、教職員とともに、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができます。看護人材養成への高い志をもつ皆さん、私たち群馬県立県民健康科学大学と一緒に学んでみませんか。

特色

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程は、2012年に大学の地域連携センター事業として開設され、6年が経過しました。本課程は、大学の教育理念に基づき独自の統合カリキュラムを編成し、教育を展開しています。本課程の最大の特徴は、大学看護学部の看護基礎教育と連動している点にあります。看護学部がバックアップ体制を整え、大学の学習環境を最大限に活用して、実際の看護基礎教育の現実を身近に感じられるダイナミックな授業を展開しています。これにより、本課程生は、学習した知識と教育実践とのつながりをもちながら、1年間学習することを通して、看護基礎教育・看護継続教育の実践に必要な能力を着実に修得しています。この能力は、看護学教員を目指す看護職者だけでなく、**病院の実習指導者や院内教育担当者など、学生や後輩看護師教育に携わる看護職者**にとって教育実践上の基盤になります。

看護学教員養成課程のあゆみ

2012年 4月 群馬県立県民健康科学大学地域連携センターに開設される

2018年 4月 大学院看護学研究科博士前期課程「キャリア開発コース」開設に伴い、大学院への進学への道が開かれる(10単位を既修得単位として認定)

- 本課程は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受けています。
- 本課程は、厚生労働省教育訓練給付金(一般教育訓練)講座の指定を受けています。

看護学教員養成課程と看護学研究科博士前期課程(キャリア開発コース)のつながり



キャリア開発コース

- 看護師として5年以上の実務経験のある教員のキャリア・ディベロップメントに向け、教授活動力及び組織運営力を開発・発展できる能力の修得を目指します。
- 研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが修了要件です。

授業科目と担当教員

分野	科目名	単位数	時間数	担当教員	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月
基礎分野	倫理と教育	2	30	横山京子 中西陽子									
	情報と教育	2	30	狩野太郎 非常勤講師									
	教育の原理	1	15	非常勤講師									
	青年期の発達と学習	1	30	垣上正裕 非常勤講師									
	教育環境	1	15	非常勤講師									
専門分野	看護の本質と専門性Ⅰ (概論)	1	30	山下暢子 高橋裕子									
	看護の本質と専門性Ⅱ (概念規定)	1	30	高橋裕子									
	教員と学生の理解	1	15	山下暢子 河内直美									
	看護学教育制度論	1	15	山下暢子 服部美香 河内直美									
	看護学教育組織運営論	1	15	巴山玉蓮 非常勤講師									
	看護学教育課程論Ⅰ (カリキュラム編成の基礎)	1	30	山下暢子 高橋裕子									
	看護学教育課程論Ⅱ (カリキュラム構造の理解)	1	15	高橋裕子									
	看護学教育課程論Ⅲ (カリキュラム編成の実際)	5	135	高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅰ (看護教育方法)	1	30	松田安弘 高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅱ (講義)	4	135	松田安弘 高橋裕子					教育	実習			
	看護学教育授業展開論Ⅲ (演習)"	3	90	松田安弘 高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅳ (実習)	3	105	松田安弘 高橋裕子					教育	実習			
	看護学教育評価論	2	60	服部美香									
	看護学教育研究Ⅰ (研究の基礎知識)	1	30	龍野浩寿 大澤真奈美 飯田早苗									
	看護学教育研究Ⅱ (研究成果の活用)	1	30	横山京子 高橋裕子									

夏季休業

【主な授業担当教員】

教授：巴山玉蓮、松田安弘、山下暢子、横山京子、中西陽子、狩野太郎

准教授：服部美香、大澤真奈美、飯田早苗、龍野浩寿

講師：高橋裕子、河内直美、垣上正裕

【教育担当者】高橋裕子

本課程では、大学看護学部教員を中心に授業を提供しています。また、専任の教育担当者が1年間の学習過程をサポートしています。※看護学教育授業展開論Ⅱ・Ⅳでは、授業担当教員の指導により、大学、専門学校で教育実習を行います。

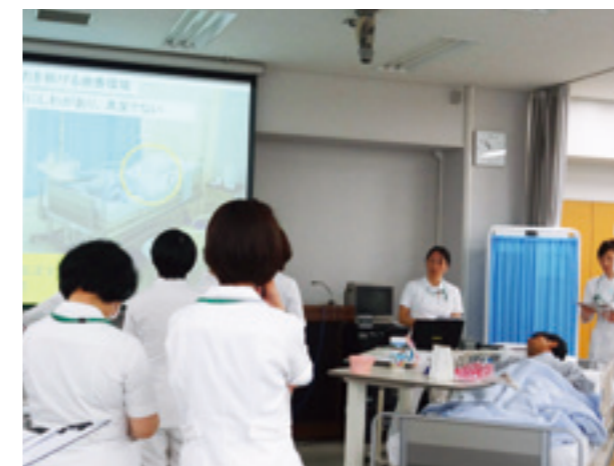
授業の様子（看護学教育授業展開論Ⅲ・演習）



演習参加観察



グループワーク



演習模擬授業



演習模擬授業

看護学教育授業展開論Ⅲ（演習）の講義を受けた後、看護学部学生に提供されている授業をその演習の前提となる講義も含めて参加観察します。その後、グループディスカッションにより、看護学演習における「教授＝学習活動」の特徴、学生の主体的学習を促すための授業設計について理解を深めます。また、この学習成果と教育実習の経験を基に、実際に演習の授業設計・模擬授業を行います。

平成31年度 入学者選抜の概要

出願資格	大学入学資格を有し、保健師、助産師、看護師の資格取得後、常勤（週40時間）換算で5年以上の実務経験を有するもの
募集人員	20名
修業年限	1年間（12ヶ月）
選抜方法	「面接」「小論文」書類審査
試験会場	群馬県立県民健康科学大学

第1次出願期間	H30.10.15～11.16
第1次入学試験日	H30.12.18
合格発表日	H30.12.25
第2次出願期間	H31.1.16～2.8
第2次入学試験日	H31.2.19
合格発表日	H31.2.26
授業料	200,000円（県内）
	250,000円（県外）

※詳細については、本学ホームページをご確認ください。

※2次募集は、上記日程による入学者選抜の結果、入学手続き数が募集人数に達しなかった場合に行います。2次募集の有無については、本学ホームページ上でH31.1.10に公表します。

Voice 在学生の声

私は、新人看護師の指導や学生の実習指導をする中で、難しいなと感じることが多く、看護学教育について学びたいと思い、この看護学教員養成課程へ入学しました。入学後、同じように悩んだり疑問を持ったりしている仲間と日々学習していく中で、自分の疑問や問題が解決していき、毎日楽しいと感じています。また、自分が実践してきた「看護」について深く考えることで、より看護の魅力を感じることができ、「看護が好きなんだなあ」と改めて思いました。

初めの頃は、授業についていけるかどうか不安に感じましたが、講義を聴くだけでなく、グループワークや実際の看護学部の授業の参加観察など、アクティブラーニングを取り入れた授業が多く、毎日が「思考の刺激」の連続で、学びも多いと感じています。

まだ学び始めたところですが、わからないまま、知らないままやっていたことがたくさんあることに気づきました。教育に関する知識や技術は教員だけでなく、臨床の看護師にも必要だということを強く感じています。毎日の学習は大変なこともあります。経験豊かな先生方の親身な指導のもと、同じ目標に向かう仲間とともに日々研鑽しています。

みなさんも、教育の知識や技術が系統的に学べるこの看護学教員養成課程で一緒に学んでみませんか。

(7期生：病院の看護師をしているAさん)



Voice 修了生の声

私は、実習指導者として、日々成長する学生の姿を見て「教える」ことのやりがいを感じ、いずれは教員を目指したいと思っていました。そんな時、看護学校で講義する機会を頂きました。初めての経験に戸惑うばかりで、今まで看護師として培ってきた経験を、学生にどのように伝えればよいのかわからず、結局、手探り状態のまま講義は終了しました。この経験が、看護学教員養成課程に受験するきっかけとなりました。

看護学教員養成課程に入り、12カ月間の講義や演習、実習を通して、沢山の事を学びました。入学前、私は、教員は授業をするということは理解していましたが、授業をするためには、十分な準備が必要であることがわかりました。入学後、その具体的方法を学習することにより、修了する頃には、以前講義をした時に「自分はどうすればよいのか」と感じた疑問を解決することができました。また、疑問を解決するだけでなく、養成課程の先生からの指導を受けながら、自分の考えた授業を看護学生の前で実際に実践することを通して、自信を持つこともできました。

現在、私は教員2年目になります。学生の成長する姿、学生の笑顔に支えられて、養成課程で学んだ教員として必要な知識・技術・態度をもとに、「学生のために自分ができることは何か」私自身も教員として成長できるように、自問自答しながら、充実した日々を送っています。養成課程で学んだこと全てが、今の教員としての私の財産になっています。

(5期生：病院の看護師から看護学養成教育機関の教員となったHさん)



Voice 修了生の声

私は看護学教員養成課程に進むまでの3年間、看護専門学校の教員として基礎看護教育に携わっていました。日々の学生との関わりは常に手探りで、自分はいったい何をすべき役割なのか、何をどこまで教えるべきなのか、多くの悩みを抱えているときに本課程で学習する機会を得ました。

養成課程での授業は、グループワークが中心でした。自分が大切にしてきたことや考えていることを、言語化して相手に伝えることの難しさに苦しみ、目を背けたい自分と向き合い、未熟であることを実感する日々でした。そこから自己の課題を見出し、改善点を探し克服する。成人学習者として、学習の醍醐味を実感できる貴重な時間となりました。

修了後1年が経過した今、看護の初学者である学生に何をわかってほしいのか、なぜそのことをわかる必要があるのか、看護の本質となるものを丁寧に考えながら授業づくりに奮闘しています。「片方の目は足元を、もう片方の目で先をみる」を心に留めて、一緒に学んだ仲間と支え合いながら、自分の役割を果たしていきたいと考えています。

(5期生：看護師養成教育機関の教員を継続しているIさん)



聴講生募集

募集：若干名

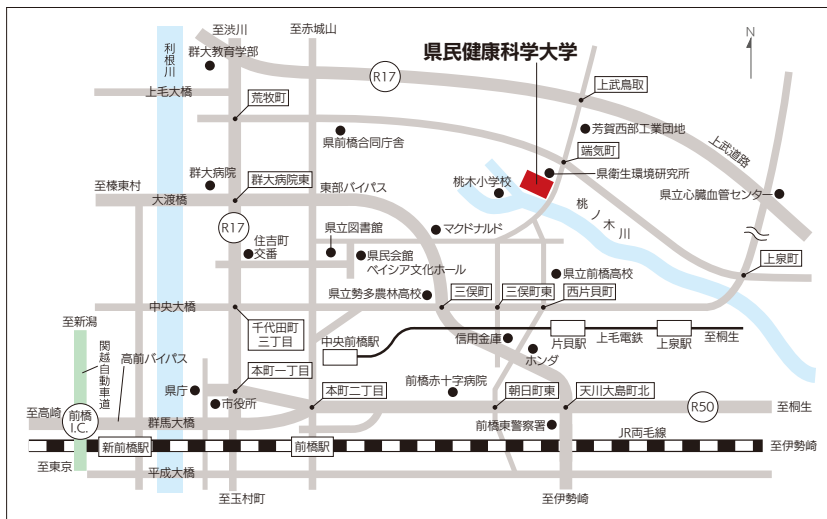
授業聴講料：1単位当たり7,800円（聴講開始の属する月に単位数に応じた額を徴収します。）

出願書類：聴講願、履歴書、最終出身校の卒業証明書

出願申込：年度当初に一括して受け付けます。※聴講科目、出願書類などの詳細はお問合せください。

■ 学生募集要項(願書含む)の請求方法

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程事務局までご請求ください。



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道前橋I.C. から約20分



群馬県立県民健康科学大学
Gunma Prefectural College of Health Sciences
看護学教員養成課程事務局

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-9577 Fax.027-235-9578
URL <http://www.gchs.ac.jp> E-mail: kyouinyousei@gchs.ac.jp

